

全国コンクリート圧送事業団体連合会 佐藤隆彦会長

人手不足が一番の課題

廃業決断のケースも

コンクリート圧送業者は、その職前職、土工系とコンクリート工の形廃業のついで、生コンの約7割はポンプ圧送を稼いでおられる。生コン廃業は、仕切っても切れない関係。ただ、事前準備や後付けも含め非情な労働環境であり人手確保に苦慮。また、生コン廃業は、仕切っても切れない関係。また、生コン廃業は、仕切っても切れない関係。また、生コン廃業は、仕切っても切れない関係。



「人手不足は朝一日で解決できないので、オペレーターで対応している。また、若い方が入職しにくいので、オペレーターで対応している。」

「コンクリート圧送業者は、その職前職、土工系とコンクリート工の形廃業のついで、生コンの約7割はポンプ圧送を稼いでおられる。生コン廃業は、仕切っても切れない関係。ただ、事前準備や後付けも含め非情な労働環境であり人手確保に苦慮。また、生コン廃業は、仕切っても切れない関係。また、生コン廃業は、仕切っても切れない関係。」

「人手不足は朝一日で解決できないので、オペレーターで対応している。また、若い方が入職しにくいので、オペレーターで対応している。」

資材高が経営直撃

単価改定は喫緊の課題

「資材高が経営直撃」として、コンクリート圧送業者は、資材高の急騰に悩まされている。特に、セメント、砂、石、骨材などの価格が暴落し、業者の経営に大きな影響を与えている。単価改定は喫緊の課題となっている。

「資材高が経営直撃」として、コンクリート圧送業者は、資材高の急騰に悩まされている。特に、セメント、砂、石、骨材などの価格が暴落し、業者の経営に大きな影響を与えている。単価改定は喫緊の課題となっている。

「資材高が経営直撃」として、コンクリート圧送業者は、資材高の急騰に悩まされている。特に、セメント、砂、石、骨材などの価格が暴落し、業者の経営に大きな影響を与えている。単価改定は喫緊の課題となっている。

「地域によって状況が異なる。全国的には生コンの出荷量が増えてきている。業者は、資材高の急騰に悩まされている。特に、セメント、砂、石、骨材などの価格が暴落し、業者の経営に大きな影響を与えている。単価改定は喫緊の課題となっている。」